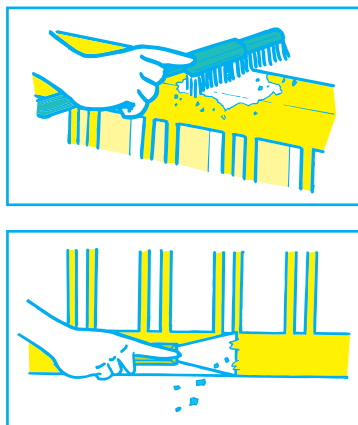




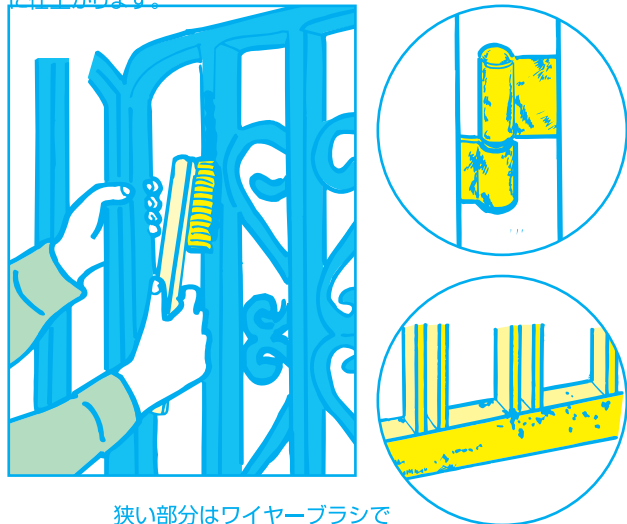
1 古い塗料をはがします。

金ペラやワイヤーブラシで、古くてポロポロとはがれかかっている塗料の膜をできるだけはがして下さい。



2 サビを充分に落とします。

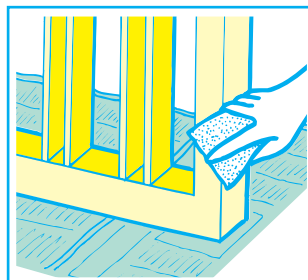
サビが浮いているところやその周囲はワイヤーブラシや金ペラでよくこすり落として下さい。そのあとサンドペーパーでさらに磨きます。特に残っている塗料の膜とサビのある部分に段差があるところはサンドペーパーで磨いておくと、新しい塗料を塗ってもきれいに仕上がります。



狭い部分はワイヤーブラシで

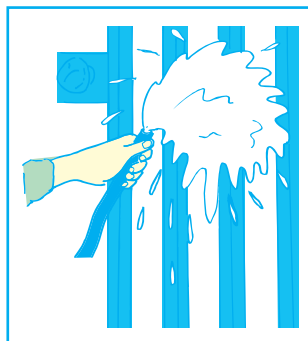
3 サンドペーパーで磨きます。

80~100番のサンドペーパーをサンディングブロックか木片にまきつけて、サビを落したい部分を鉄の地肌が見えるまで磨いて下さい。さらにその他全体の表面を荒磨きして、ペンキがよくつくようにしておきましょう。



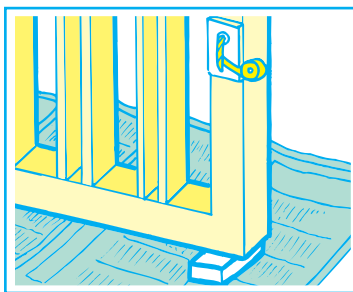
4 汚れを落とします。

汚れた部分だけでなく全体をよく水で洗い流し、汚れを落とします。水性塗料の場合なら乾燥させなくてもこの状態から塗りはじめられます。



5 マスキングします。

塗料がついたら困る部分はマスキングしておきましょう。門柱や地面、ブロックなどは新聞紙でおおい、樹木は縛ってさらに新聞紙でおおきましょう。



6 サビ止めします。

サビを落とした部分には筋かい刷毛でサビ止め塗料を必ず塗りましょう。



7 筋かい刷毛でていねいに塗りましょう。

サビ止め塗料が充分に乾いてから塗装します。初めは塗りにくいところから塗ります。1回目の塗装が終わったら乾くのを待って、2回目を塗ります。一度に厚く塗るとしわができたり、ムラができるので必ず薄く2回塗りをしましょう。塗り終えたらさわられる可能性があるため、ペンキ塗りたての札を下げてください。

